



お正月が過ぎたと思ったら、一月もあっという間に終わってしまい、今日から二月です。三年生にとっては残り 40 日余り、いよいよ中学校生活の仕上げの時期になりました。これからの一日一日を大切に過ごして下さい。

社会人に求められるもの

誰でもいずれ社会人となります。皆さんにはこの常陽中学校で社会人としての基礎を培ってほしいと願っています。ところで、社会で必要とされる人物とはどのような人でしょうか？才能にあふれた頭脳明晰な人でしょうか？もちろん、そんな人がいれば素晴らしいですが、その様な人はほとんどいないでしょう。昨年末、神戸新聞に弁護士である住田裕子 氏の「共感性を育む社会に」と題した記事が掲載されていました。以下に記事の概要を記します。

社会で活躍するには勉強ができる知能指数「IQ」よりも心や感性の知能指数「EQ」の方が大事だと感じる。やる気、熱意、チャレンジ精神が不可欠。勉強ができる人は「これをやれ」と指示されても「そんなの無理」と、最初から諦めてしまいがち。がむしゃらに頑張る人の方が道が開ける。挫折しても諦めずに頑張る忍耐やがまんこそ必要。

第二番目に「謙虚」さ。社会に出れば常に新しいことに出くわす。「教えて下さい」という謙虚な姿勢がないと伸びない。

そして三つ目に「共感性」。人の立場になって痛みや喜びを分かち合えることが大事。これまで仕事を通して色々な犯罪者を見てきたが、共通するのは共感性の無さ。人の痛みや気持ちが分からない。自分は悪くない、周りが悪いと考えている人が多い。

以上のような内容でした。つまり、伸びる人というのは元気ががむしゃらに努力できる人、他人のことを思いやり、謙虚な姿勢の人ということです。皆さんのまわりにもきっとこの様に伸びていく人がいますよ。皆さんも是非、伸びる人であって下さい。

三年生面接練習

三学期に入り、連日のように三年生の面接練習を行っています。参加者は真剣そのものですが、答え方の上手い人・下手な人がいます。ポイントは次の三つです。

①質問の内容を正確につかむ ②答えの中に具体的な内容を入れる ③簡潔にまとめる です。それと、あらかじめどんなことが聞かれるのか予想しておき、答えをつくっておくことが大事です。

以下に、代表的な質問をあげてます。

- なぜ、この学校を選びましたか？（志望理由）
- 中学校で一番努力したことは何ですか？
- 中学校生活で印象に残っていることは何ですか？
- この高等学校で何を頑張りたいですか？
- 将来つきたい職業は何ですか？
- オープンハイスクールに参加した感想は？
- 最近、関心を持ったニュースは何ですか？
- 得意教科、不得意教科は何？その理由は何ですか？
- 特技は何ですか？
- 趣味は何ですか？
- 自分の長所・短所はどんなところですか？

この他にもありますが想定質問をつくって、自分なりの答えをノートにまとめておくとういでしょう。

健闘を祈っています。

★住田 裕子 氏

1951年加古川市生まれ。東大法学部卒業後、79年に東京地検検事官。女性初の法務省民事局付検事を経て、96年から弁護士。00年から、11年にかけて「行列の出来る法律相談所」(日本テレビ)に出演。タレント。

★お詫び

学校だより第2号(平成25年1月11日)で紹介した、本校卒業生の広川倅暉君(平成21年3月卒業)の漢字が間違っていました。正しくは廣川倅暉君でした。(広↓廣)訂正してお詫びします。